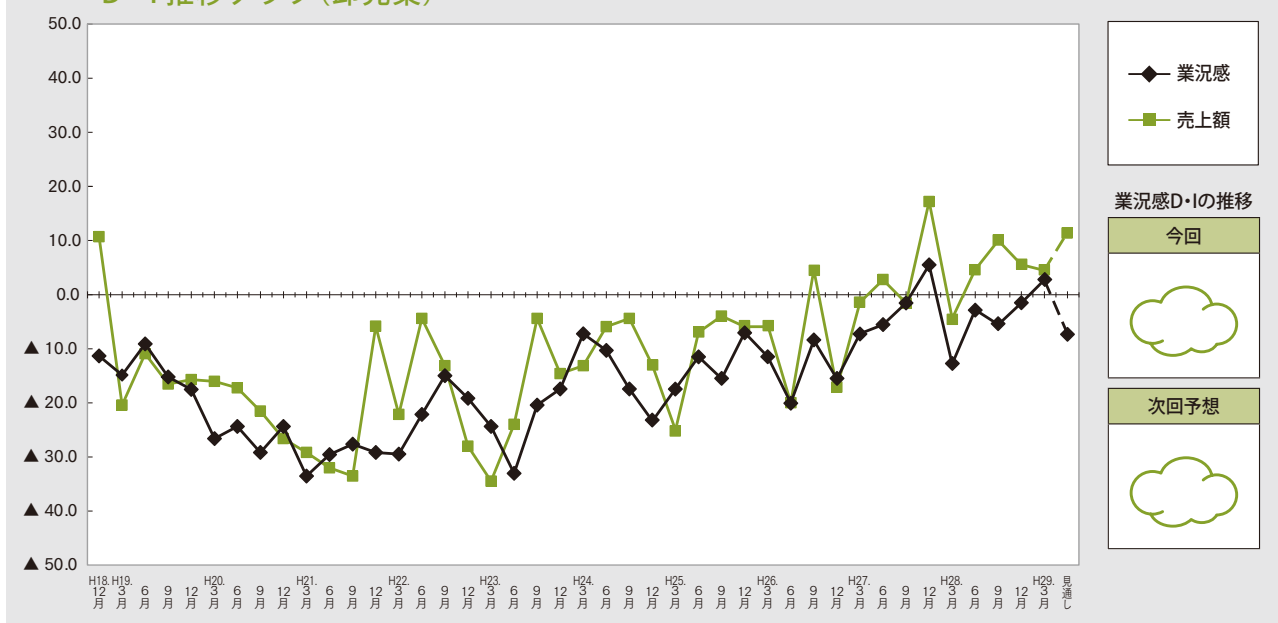


# 卸売業

Wholesale trade

# 業況感D I 値5期ぶりのプラス

D・I 推移グラフ(卸売業)



## 1 今期 (平成29年1 - 3月期)

卸売業の業況感は、今期2.9 (前期▲1.4)となり、前期比4.3ポイント上昇。5期ぶりにD I 値がプラスとなった。

売上額・販売価格のD I 値はプラスを維持。収益もD I 値プラスとなり、その他の項目も改善傾向となった。雇用も改善傾向ではあるが、設備とともに依然として不足感が強い状況が続いている。

## 2 来期の予想 (平成29年4 - 6月期)

来期は、業況感が今期から10.0ポイント低下し、再びマイナスとなる見込みとなっている。しかしながら、項目別に見ると売上額、収益、販売価格が改善。資金繰りもD I 値マイナスながら改善の予想となっており、今期5期ぶりにプラスに転じた反動でマイナスを予想したものと考えられる。雇用、設備については依然として不足感が強いとの予想である。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H28. 3月期	H28. 6月期	H28. 9月期	H28. 12月期	H29. 3月期	来期見込み
業況感	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 5.7	▲ 1.4	2.9	▲ 7.1
売上額	▲ 4.3	4.3	10.0	5.7	4.3	11.4
収益	▲ 1.4	2.9	0.0	▲ 2.9	1.4	8.6
販売価格	7.1	2.9	11.4	1.4	4.3	10.0
仕入価格	▲ 17.1	▲ 4.3	▲ 11.4	▲ 13.0	▲ 11.4	▲ 12.9
在庫	▲ 5.7	4.3	▲ 4.3	▲ 1.4	0.0	▲ 5.7
資金繰り	▲ 14.3	▲ 17.1	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 11.4	▲ 8.6
人手	8.6	14.3	11.4	10.0	7.1	11.4
設備状況	4.3	10.0	7.2	7.1	10.0	7.1

## 業況調査メモ

南九州酒販主催の「2017薩摩焼酎・黒糖焼酎大試飲会inFUKUOKA」が2月23日、福岡市のソラリア西鉄ホテルで開催された。今年で4回目。前売券1000円、当日券1500円でいろんな焼酎を飲み比べられるとあって、福岡の焼酎ファンにはうれしいイベント。県内84蔵元から660銘柄が出展し、2300人の来場者に鹿児島の本格焼酎の魅力をアピールした。会場入り口には各蔵元の1升瓶がずらりと展示され、蔵元のブースにもさまざまな銘柄が並んだ。同様の催しは3月28日、東京でも2回目を開催。鹿児島ならではの多種多様な薩摩焼酎・黒糖焼酎の情報発信に地元の酒類卸の果たす役割は大きい。